

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教科： 地理歴史 科目： 日本史演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 9 組

教科担当者： 嶺

使用教科書：（ 詳説日本史（山川出版社） 詳説日本史図録（山川出版社） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して 多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	史料・地図を活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、歴史的思考を身に付ける。	社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 近世から近代へ 【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が直面していた国内外における課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	・近世から近代へ ・詳説日本史図録（山川出版社） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【思考・判断・表現】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代ごと的小テスト、課題等の提出状況等を総合的に考える。	○	○	○	6
	単元 近世から近代へ 【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が直面していた国内外における課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	・近世から近代へ ・詳説日本史図録（山川出版社） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【思考・判断・表現】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代ごと的小テスト、課題等の提出状況等を総合的に考える。	○	○	○	4
	単元 近代国家の成立 【知識及び技能】 明治政府による中央集権化の建策と土族反乱の終結、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 諸制度の改革が権威社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における開国についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	・近代国家の成立 ・詳説日本史図録（山川出版社） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【思考・判断・表現】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代ごと的小テスト、課題等の提出状況等を総合的に考える。	○	○	○	10
	単元 近代国家の成立 【知識及び技能】 明治政府による中央集権化の建策と土族反乱の終結、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 諸制度の改革が権威社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における開国についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	・近代国家の成立 ・詳説日本史図録（山川出版社） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【思考・判断・表現】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代ごと的小テスト、課題等の提出状況等を総合的に考える。	○	○	○	5
	期末試験			○	○	○	1
2 学期	単元 恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌・国際関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ワシントン体制下の他國外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済的動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の動向などから議論の傾向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	・恐慌と第二次世界大戦 ・詳説日本史図録（山川出版社） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【思考・判断・表現】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代ごと的小テスト、課題等の提出状況等を総合的に考える。	○	○	○	14
	単元 占領下の日本 【知識及び技能】 第二次大戦前後の政治や社会の動向と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容及び日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が先み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	・占領下の日本 ・詳説日本史図録（山川出版社） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【思考・判断・表現】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代ごと的小テスト、課題等の提出状況等を総合的に考える。	○	○	○	9
	中間試験			○	○	○	1
	単元 高度成長の時代 【知識及び技能】 平等自由による自由民主主義の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約、日米貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事象もたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	・高度成長の時代 ・詳説日本史図録（山川出版社） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【思考・判断・表現】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代ごと的小テスト、課題等の提出状況等を総合的に考える。	○	○	○	4
2 学期	単元 激動する世界と日本 【知識及び技能】 エネルギーや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった原因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	・激動する世界と日本 ・詳説日本史図録（山川出版社） ・授業プリント ・一人1台端末を活用し、探究する。	【知識・技能】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【思考・判断・表現】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代ごと的小テスト、課題等の提出状況等を総合的に考える。	○	○	○	6
	期末試験			○	○	○	1

3 学 期	問題演習	・ 共通テスト・私大演習 ・ 詳説日本史図録（山川出版社）	【知識・技能】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考 える。	○	○	○	9
			【思考・判断・表現】 定期考査の得点、課題等の提出状況等を総合的に考 える。				合計
			【主体的に学習に取り組む態度】 時代ごとの小テスト、課題等の提出状況等を総合的 に考える。				70